みんなで考えよう！

しがの流域治水

水害なんて、今でも起きるの!?

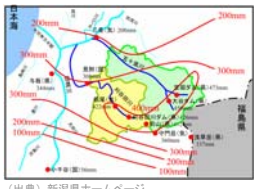
昔、しがは、水害だらけだった!?

（写真）彦根地方気象台

・・・そして、川の工事やダムづくりが進み、
最近は少しずつ、あふれにくくなってきました。

洪水は完封できない!?

川の工事もダムもできた刈谷田川（新潟県）。
2004年、川もダムもがんばりましたが、
氾濫を抑えられませんでした。



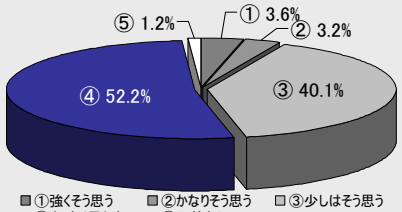
（出典）新潟県ホームページ

治水に完全はありえません。

なのに、水害への備えは忘れられそうになっています。

堤防のそばや、水がたまりやすい場所でも、
新しい街ができ、多くの人々が暮らし始めています。

Q）あなたは今のお住まいが、今後10年以内に、
洪水による被害を受けると思いますか？



県政モニターアンケート（2004）

水害は地震よりも起こりやすい!?

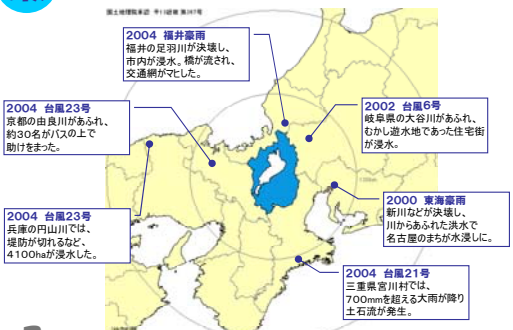
川の工事がおわっても、今後30年で氾濫の危険が生じる
可能性は、26％を超えています。

氾濫の危険が生じる可能性（計画高水位を超える確率）	今後10年間	今後30年間
通常の改修が終わった河川（年超過確率1/10で改修）	65.1%	95.8%
大規模な改修が終わった河川（年超過確率1/50で改修）	18.3%	45.5%
大規模な改修が終わった河川（年超過確率1/100で改修）	9.6%	26.0%

地震が発生する可能性	今後30年間
琵琶湖西岸地震（M7.8）	0.09%～9%

（地震に関するデータ）文部科学省地震調査委員会長期評価部会

最近はなぜか台風が滋賀を避ける。



2000年以降も、周辺では大きな水害が発生。
滋賀では、最近、水害が減ってきていますが、それは、
たまたま、周辺より大雨が少なかっただけ。
だから油断はできません。

これは まずい！

まずは“知ること”、そして、ためらわずに“逃げること”

そなえる ととめる

水害体験の聞き取り・伝承

水防訓練

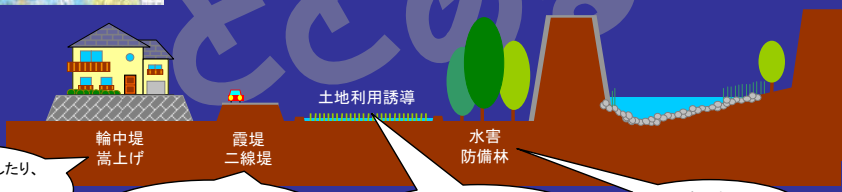
洪水ハザードマップ

（出典）彦根市ホームページ

河川情報

災害保険

輪中堤・二線堤・水害防備林



家の敷地を高くしたり、周りを囲んだり、すまい方の工夫。

道路を少し高くするなど、あふれた水が住宅地に流れ込まないようにする工夫。

水がたまりやすい場所に、危険を知らないままで人が住まないようにする工夫。

川からあふれ出た流れを弱める工夫。

避難訓練

水害学習会

たとえ氾濫しても、みんなで助け合い、誰も命を落とさない、
そんな地域社会をつくること、
それが しがの流域治水

出前講座やってます！

子どもたちに地震のこと、水害のこと、土砂災害のこと知らせていますか？
災害の話はあまり楽しい話ではありません。けれども、今、きちんと伝えておかなければ、
子どもたちは危険を知らず無防備なまま、そこで暮らし続けることになるのです。

出前講座でお話できる内容

- ■ わたしたちの地域ってどんなところ？ ～川から見た地域の特徴～
  川の恵みと地域の暮らし、川の自然・生き物、雨が降って洪水になるしくみ
  地域の水害・洪水対策の歴史、水害の起きやすい場所
- ■ いざ水害、自分と家族をどうやって守るのか？ ～水害にそなえる基礎知識～

子ども向け出前講座もあります。
子どもは10年後のおとな。
未来を生きる子どもたちに
“水害への備え”残しておきましょう。

滋賀県知事 嘉田由紀子

滋賀県流域治水政策室
〒520-8577 滋賀県大津市京町 4-1-1（県庁新館4階）
電話番号：077(528)4290
電子メール：ryuiki@pref.shiga.lg.jp
ホームページ：http://www.pref.shiga.jp/h/ryuiki/index.html

第3版（2008.1）